

特定非営利活動法人

さがみはら市民会議 会報

2005年10月

聞いて下さい！伊藤代表のオピニオン

会員を増やそう



さがみはら市民会議は、社会貢献団体のネットワークを築くことにより、お互いに育ちあい支えあう豊かな社会を目指すために設立されました。ネットワークというキーワードのもと、30団体を越える関係者が

集まって、サポートセンター運営事業を中心に活動しております。

本年は、会員の拡大をひとつの目標として、活動を開始しましたが、なかなか会員の拡大が実行できておりません。ネットワークを広げることからすれば、会員が広がらなければ、ネットワークもこれ以上は広がらず、団体としての魅力も半減しかねません。

サポートセンター運営事業は、あくまでも、我々の目指す理念の一過程でしかありません。サポートセンターの運営そのものが目的ではないのです。我々はあくまでも、団体相互が出会って、そのコラボレーションの中から新たな活動が芽生えることにより、より市民活動が活発化することを活動のコンセプトとしております。

もっとも、あまり難しく考えず、フェスタや講座などの企画にワイワイと参加できる仲間を探すことが必要なのかもしれません。意外と身近に市民会議に興味を持つ人がいるかもしれません。

我々一人ひとりが、「拡大」の意識を忘れずに、これからも会を盛り立てていきましょう！

最近の催しから

◆第5回トークサロン

『障害者自立支援法ってなあに？』

ネットワーク委員長 鹿野 徹子

今年度2回目のトークサロンは、平成17年8月31日(水)18時30分から相模原市民会館の第2中会議室で、ゲストに相模原市障害福祉課の霧生さんと高

橋さんを迎えて行われました。企画と実施の間にテーマである障害者自立支援法が廃案になってしまいましたが、特に関係者の関心が高く、42名の方の参加



熱心にお話を聴く

がありました。

平日の夕方の開催で時間が十分に取れなかったため、ゲストの話と質疑応答で予定の時間はおわり。あと30分は欲しかったところですが、当事者の方の質問がこの法案の問題点を鋭く切り取ってくれ、この会のまとまりをつけたという感じでした。

一旦は廃案になったこの法案が再び国会で審議されるという話を耳にしますが、どうか当事者の方の意見に耳を傾けた審議であって欲しいと、関係者だけでなく、この法案について学んだ人皆が祈っていることと思います。ご参加ありがとうございました。

◆第1回利用者懇談会および交流会

総務委員長 西 智巳

去る9月10日(土)に、2005年度第一回利用者懇談会及び交流会が開催されました。利用者懇談会の学習会においては、市民活動団体の情報発信をテーマに、各マスコミよりそれぞれの特性等をお話いただき、また、今後の各利用者団体との関わり方や、その



お話が終了した後、別室に移ってのなごやかな交流会

利用方法(広報の仕方)などを情報交換の時間も含め、有意義な懇談会が出来たと思います。

交流会においては、団体相互及び各メディアとのコミュニケーションを図るために、更に個別に情報交換等をしていただき、また、数団体の方に活動発表(P.R)の時間を設けたことにより、参加していただいた方それぞれに懇親を深めていただけたことと思います。

当日は利用者懇談会に55名、交流会にも50名と多くの方々にご参加いただき、大変有意義に過ごすことも出来ました。

アンケート結果では、「マスコミの方の意見を聞けて良かった」「より身近な広報活動が可能になった」等の意見があり、今回のテーマは、各利用者団体の方の今後の活動にも大いに役立っていただけれるものと思います。話を聴いた後のなごやかな交流の様子

私自身、さがみはら市民会議に入り最初の事業でもありましたが、思い描いていた趣旨は達成されたものと確信しております。

最後に、当日お手伝いいただいたスタッフ及び会員の皆様のお蔭をもちまして無事に事業を終えることが出来ました。ありがとうございました。

◆第1回定例会～市民参加のひとつのかたち～

『審議会・委員会について知ろう』

政策情報委員長 西本 敬

今年度の最初の定例会は、政策情報委員会らしく、今までに取り上げられなかったような話題でした。最初に市パートナーシップ推進課の藤田さんから、市の委員会などについての仕組みの説明があった後、4つの委員会に参加した市民側委員の皆さんに、委員会のミッション、どのようなことを話し合っただう報告されたのか、報告の後にはどのように実施されたのか、参加しての感想、市民参加の意味合いなどを発表していただきました。

全体として感じられたことは、委員会とは言っても、それぞれの委員長の運営方法によるところが大きく、市民側委員の発言のしやすさにも差異があるということでした。行政から諮問されるにしてもほとんど出来上がった案への意見を述べるというよりも、早い時期から委員会を始めて欲しい、市民の専門性を生かす方法もある、団体枠が固定化してきていないかなど、様々な意見が出されました。

委員同士の交流の機会を作ったのは市内では始めてではないかと考えられますが、「2度目はいつやるのか」といった意見も出るなど、今後のあり方を考える必要を感じる程、有意義なものになったと思います。

盛りだくさんの会報いかがでしたか。皆さんのニュースを送って下さい。お待ちしております。 政策情報委

参加しよう! いよいよ迫ってきた
さがみはら市民活動フェスタ2005

フェスタのスケジュール概要は下記の通りです。

◆学習会の部 11月6日(日)10時～16時30分 大野北公民館大会議室。テーマ「子供が育つ環境—地域の未来」

◆パネル展示の部 11月13日(日)9時～17時。銀河アリーナロビー。活動紹介パネル・相模原今昔写真展等。

◆イベントの部 11月13日(日)10時～17時 淵野辺公園銀河アリーナ周辺広場。流礼式茶会、視覚障害誘導体験、車椅子リフト車体験、次世代交流ワークショップ、ソフトエネルギーバス体験等。

◆母と子のコンサート 12月7日(水)14時30分～16時、18時30分～20時。杜のホール橋本多目的室。歌 松永知子。入場料1500円(保育料、交流会費、お茶菓子つき)子ども無料。

え?! そうだったの? 会員紹介

☆☆☆ニツ森千尋さん☆☆☆

この会ができたと同時に2人の子供の母親になりました。それまでのライフスタイルとは一変しましたがボランティアの心は変わっていません。

4年半程マレーシアで奉仕活動をして、現地の人とふれあいそこで得たものは私の宝物です。大好物のマレー料理はラクサというヌードルです。

あのすっぱ辛い味がたまらない! つわりの時に一番食べたかったのはこのラクサだったので、私の体は半分位マレーシア人になっているかも! ?

それでかな? 生まれてきた2人の子はマレーシア人が大好きなんです。11月にマレーシアに行ってきます!

☆☆☆益子愛海さん☆☆☆

戦前生まれ、誰からも「あなたは死なない」と言われる程元気。ボランティア活動していても全身全霊粉骨砕身などしないからだと思う。もっとがんばらなくちゃいけないかなあ?

留学生や外国籍住民の支援に関わって14年。違和感なく共生できる町づくりの端くれに身を置くことを目指して活動を継続。

ことばや習慣の違う異国での子育ては大変なことと思いきや外国人ママにホッとするとともに「子育て中の外国人母子交流会」を立ち上げたが6年間で挫折。でも私はやりたかった。だからもう一度実現させたい。求む協力者!